



**VMware** ハイブリッド  
クラウドのユースケース  
NetApp public and hybrid cloud solutions

NetApp  
February 26, 2026

# 目次

VMware ハイブリッド クラウドのユースケース.....	1
VMware を使用したNetAppハイブリッド マルチクラウドのユースケース .....	1
人気のユースケース.....	1
ハイパースケーラー向け VMware 向けNetAppソリューション .....	2
VMware 環境向けNetAppソリューション.....	2
Amazon VMware Managed Cloud (VMC) 向けNetAppソリューション .....	2
Azure VMware Solution (AVS) 向けNetAppソリューション .....	3
Google Cloud VMware Engine (GCVE) 向けNetAppソリューション .....	4

# VMware ハイブリッド クラウドのユースケース

## VMware を使用したNetAppハイブリッド マルチクラウドのユースケース

ハイブリッド クラウドまたはクラウド ファーストの展開を計画する際に IT 組織にとって重要なユース ケースの概要。

### 人気のユースケース

使用例は次のとおりです:

- 災害復旧、
- データセンターのメンテナンス中にワークロードをホスティングする、\* ローカルデータセンターでプロビジョニングされているリソースを超えて追加のリソースが必要となる急激なバースト、
- VMwareサイトの拡張、
- クラウドへの迅速な移行、
- 開発/テスト、そして
- クラウド補足テクノロジーを活用したアプリの最新化。

このドキュメント全体を通じて、VMware のユースケースを使用してクラウド ワークロードの参照について詳しく説明します。これらのユースケースは次のとおりです。

- 保護（災害復旧とバックアップ/復元の両方を含む）
- 移行
- 拡張

### ITの旅の内側

ほとんどの組織は変革と近代化への道を進んでいます。このプロセスの一環として、企業は既存の VMware 投資を活用しながらクラウドのメリットを活用し、移行プロセスを可能な限りシームレスにする方法を模索しています。このアプローチでは、データがすでにクラウド内にあるため、近代化の取り組みが非常に簡単になります。

このシナリオに対する最も簡単な答えは、各ハイパースケーラーで VMware 製品を提供することです。NetApp Cloud Volumes と同様に、VMware はオンプレミスの VMware 環境を任意のクラウドに移行または拡張する方法を提供しており、既存のオンプレミスの資産、スキル、ツールを保持しながら、クラウドでネイティブにワークロードを実行できます。これにより、サービスの中断や IP 変更の必要がなくなり、IT チームが既存のスキルとツールを使用してオンプレミスと同じように運用できるようになるため、リスクが軽減されます。これにより、クラウド移行が加速され、ハイブリッド マルチクラウド アーキテクチャへの移行がよりスムーズになります。

### 補足的なNFSストレージオプションの重要性を理解する

どのクラウドでも VMware はすべての顧客に独自のハイブリッド機能を提供しますが、補足的な NFS ストレージ オプションが限られているため、ストレージ負荷の高いワークロードを持つ組織にとってその有用性が

制限されています。ストレージはホストに直接結び付けられているため、ストレージを拡張する唯一の方法はホストを追加することであり、これによりストレージを集中的に使用するワークロードのコストが 35 ~ 40% 以上増加する可能性があります。これらのワークロードに必要なのは追加のストレージのみであり、追加の処理能力は必要ありません。しかし、それは追加のホストに料金を支払うことを意味します。

次のシナリオを考えてみましょう。

顧客は CPU とメモリ用に 5 台のホストしか必要としませんが、ストレージのニーズが多く、ストレージ要件を満たすには 12 台のホストが必要です。この要件により、ストレージを増やすだけで済むのに、追加の処理能力を購入しなければならなくなり、財務上の問題が大きくなってしまいます。

クラウドの導入と移行を計画するときは、常に最善のアプローチを評価し、総投資額を削減する最も簡単なパスを採用することが重要です。アプリケーション移行の最も一般的かつ最も簡単なアプローチは、仮想マシン (VM) やデータ変換を行わない再ホスティング (リフト アンド シフトとも呼ばれます) です。NetApp Cloud Volumes を VMware ソフトウェア定義データセンター (SDDC) と併用することで、vSAN を補完し、簡単なリフトアンドシフト オプションが提供されます。

## ハイパースケーラー向け VMware 向け NetApp ソリューション

ワークフローの移行、クラウドへの拡張/バースト、バックアップ/リストア、災害復旧など、NetApp が各ハイパースケーラーに VMware 環境をもたらすソリューションについて詳しくご覧ください。

### VMware 環境向け NetApp ソリューション

ハイブリッド クラウド モデルで運用している場合も、「クラウド ファースト」モデルで運用している場合も、NetApp は、クラウドまたはハイブリッド クラウド モデルでワークロードを管理するための最も一般的なユースケースに対応する幅広いソリューションを提供します。

NetApp は、ゲスト内 (ゲスト接続) ストレージとして、または各ハイパースケーラー内の補足 NFS データストアとしてプロビジョニングされるストレージ向けのソリューションも提供しています。すべてのソリューションは、VMware のクラウド ワークロードの分類に従って分類されます。これらの分類には次のものが含まれます。

- 保護 (災害復旧とバックアップ/復元の両方を含む)
- 移行
- 拡張

各ハイパースケーラーで利用可能なソリューションの詳細については、以下をご覧ください。

- ["AWS / VMC向けソリューション"](#)
- ["Azure / AVS向けソリューション"](#)
- ["GCP / GCVE向けソリューション"](#)

## Amazon VMware Managed Cloud (VMC) 向け NetApp ソリューション

NetApp が AWS に提供するソリューションの詳細をご覧ください。

VMware は、クラウド ワークロードを次の 3 つのカテゴリのいずれかに定義しています。

- 保護（災害復旧とバックアップ/復元の両方を含む）
- 移行
- 拡張

次のセクションで利用可能なソリューションを参照してください。

#### 守る

- ["VMC on AWS による災害復旧 \(ゲスト接続\)"](#)
- ["FSx ONTAPを使用した VMC での Veeam バックアップ リストア"](#)
- ["FSx ONTAPと VMC による災害復旧 \(DRO\)"](#)
- ["Veeam Replication と FSx ONTAPを使用して VMware Cloud on AWS への災害復旧を行う"](#)

#### 移行

- ["VMware HCX を使用してワークロードを FSx ONTAPデータストアに移行する"](#)

#### 拡張

近日公開！！

## Azure VMware Solution (AVS) 向けNetAppソリューション

NetApp がAzure に提供するソリューションの詳細をご覧ください。

VMware は、クラウド ワークロードを次の 3 つのカテゴリのいずれかに定義しています。

- 保護（災害復旧とバックアップ/復元の両方を含む）
- 移行
- 拡張

次のセクションで利用可能なソリューションを参照してください。

#### 守る

- "ANF と JetStream (補足 NFS データストア) を使用した災害復旧"
- "ANF と CVO (ゲスト接続ストレージ) による災害復旧"
- "ANF と AVS による災害復旧 (DRO)"
- "Veeam Replication と Azure NetApp Files データストアを使用して Azure VMware Solution への災害復旧を行う"

#### 移行

- "VMware HCX を使用してワークロードを Azure NetApp Files データストアに移行する"

#### 拡張

近日公開！！

## Google Cloud VMware Engine (GCVE) 向け NetApp ソリューション

NetApp が GCP に提供するソリューションの詳細をご覧ください。

VMware は、クラウド ワークロードを次の 3 つのカテゴリのいずれかに定義しています。

- 保護 (災害復旧とバックアップ/復元の両方を含む)
- 移行
- 拡張

次のセクションで利用可能なソリューションを参照してください。

#### 守る

- "SnapCenter、Cloud Volumes ONTAP、Veeam Replication を使用したアプリケーションの災害復旧"
- "NetApp SnapCenter と Veeam による GCVE 上の NetApp ボリュームへのレプリケーションによるアプリケーション整合性のある災害復旧"

#### 移行

- "VMware HCX を使用した Google Cloud NetApp Volumes NFS データストアへのワークロード移行"
- "Veeam を使用した Google Cloud NetApp Volumes NFS データストアへの VM レプリケーション"

#### 拡張

近日公開！！

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。